

## 令和4年度 第2回川崎市社会教育委員会会議麻生市民館専門部会 摘録

■日時 令和5年1月24日（火） 午前10時00分～午前11時50分

■場所 麻生区役所第4会議室

■出席委員 麻生区地域教育会議議長（部会長）井上 俊夫  
麻生区文化協会副会長（副部会長）横川 博行  
川崎市王禅寺中央中学校長 山本 浩之  
麻生市民館サークル連絡会会長 菅原 陽子  
市民委員 三上 由加利※  
和光大学現代人間学部非常勤講師 角田 季美枝  
麻生区PTA協議会副会長 田澤 梓  
（欠席）麻生区町会連合会理事 松島 糾之  
市民委員 徳田 富美恵

※オンラインで参加

■事務局 麻生市民館齊藤館長、管理係内藤担当係長、社会教育振興係江上係長、麻生主任、麻生市民館岡上分館相澤分館長

■傍聴者 2名

■議事等

- 1 開会
- 2 館長挨拶
- 3 議事
  - （1）令和4年度の主な事業について
  - （2）令和4年度市民館管理に伴う工事等について
  - （3）令和4・5年度協議テーマの選定について
  - （4）その他

### (1) 令和4年度の主な事業について

事務局（江上係長、相澤課長補佐）資料に基づき説明

三上委員）あさおSOUND&VISIONが中止になったのは残念である。

### (2) 令和4年度市民館管理に伴う工事等について

事務局（内藤担当係長、相澤課長補佐）資料に基づき説明

角田委員）

岡上分館では、区制40周年の絵画展を実施したようだが、和光大学の芸術学科の学生が行っているサトヤマアートサンポでは不特定多数ということもあり、展示の協力を得られなかったと聞いている。来年はぜひ検討してほしい。

事務局（相澤課長補佐）

屋内で長期に行いたいという話であり、既に希望の部屋は他で予約されていた日があったことや開催の迫った時期に相談を受けたこと等から、今回は広報の面で協力しますということにさせていただいた。敷地内、外の壁など、次年度検討したい。

三上委員）

保育ボランティア活動で気になったが、市民館児童室の手洗いが大人の高さになっている。子どもにとっては使いにくいし、配管のある下に小さな子どもがもぐらないか危険である。踏み台などを設置し対応してほしい。

事務局（内藤担当係長）

踏み台の設置など検討します。

横川副部長）

トイレがよくなり文化的に向上した感じを受ける。ただ他の所から来た人にとって、工事中の案内が分かりづらかった。

田澤委員）

P T Aでもオンライン機器を使ったハイブリット型の打合せが増えている。市民館会議室以外の部屋でもLANが使えるようになるとありがたい。

### (3) 令和4・5年度協議テーマの選定について

井上部会長）

何のテーマを選定するか、事務局から2つの事業案の説明を受け、その後で、各々検討したい。なお、この二つのテーマよりも優先的なテーマがあるならばそちらも出していただき、今後考えていけたらと

思う。

事務局（江上係長）

資料に基づき「テーマ1：空き会議室の有効活用について」を説明

井上部会長）

以前も同様の話があった。事務室前のフリースペースに、ちょっとした話ができるようテーブルを置いた。今はパンフレット置き場になっている。今回は部屋の有効活用という面からの事業案である。

三上委員）

誰が来るのか漠然としていて心配である。ターゲットや内容を絞った方がよい。例えば、夏休みの小中学生をターゲットにするならば、青少年教室事業を活用して、大学生の協力を仰いで市民館の活性化ということも考えられる。

角田委員）

子ども達の学習フリースペースを考えると夏休みとなるが、夜間も利用できるなら違う層も期待できる。ボランティアを入れることを考えると、私語厳禁というのは厳しい。図書館の市民団体等の関係者の意見も聴いた方がよい。便利さを考えると、電子媒体で今ここが空いているというのを示した方がよい。利用時間の案内、受付をどうするかなど、まずは夏に施行し、その後どう広げていくのか考えたらどうか。

田澤委員）

小さい子どもを抱えたお母さんを考えると和室を利用できるといいが、おしゃべりできないと難しい。未就学児の子たちも使えると活用されやすい。社会人利用を考えるならば夜の実施も考えられる。

角田委員）

この事業を試行するならば、専門部会は、どのくらいまでに決めなければいけないのか。

事務局（江上係長）

準備・広報などを踏まえると、開催日の2か月前までには決定いただきたい。

事務局（齊藤館長）

スケジュール感としては、5月に専門部会を開催し方向性を定め、9月頃までの間に1月程度の試行実施を想定している。

横川副部会長）

利用料を取らないという認識でよいか。

事務局（江上係長）

市の事業として無料を想定している。

三上委員)

結構部屋が埋まっているので毎週金曜日に予約では現実的ではないと思う。1ヶ月分あらかじめ確保しておいたほうがよいのではないかな。

事務局(齊藤館長)

市民館は活動の場の提供も本分なので、場の提供の目的を反してまで実施することは考えていない。まず、これまでの空室状況を見た上で判断したい。なお、参考にする数字は、新型コロナのまん延や、現在工事している多摩市民館の貸館中止の影響を受けているため、3～4年前の利用状況を対象としたいと考えている。

事務局(江上係長)

資料に基づき「テーマ2：麻生文化センター中庭スペースの有効活用について」を説明

菅原委員)

市民館のスペースの有効活用ということで、受付前のスペースや菊花展で使用されている野外ステージの活用なども含め、以前の審議会でもアイデアが出ていた。誰が運営するのかこれから詰める必要があるが、以前実現できなかったことが、今回少しずつ進んでいて、大変うれしく思う。みんなで知恵を出し合っていきたい。

角田委員)

詳しいことはこれからだが、社会教育法上は営利につながる行為は難しい。現金の授受について、50円や100円であれば営利に該当するとは思えないが、その辺の線引きをどうするのか。市民館主体でなければよいのかなど、次回までに考えていければと思う。

井上部会長)

参考のチラシでは出展料を取っているようである。決まりは決まりで守らなければいけない。

角田委員)

他の所で開催している同様の事業を参考に、条件の整理が必要だと思う。

菅原委員)

中庭スペースは屋根があるのが強みである。実現しやすいと思う。

井上部会長)

先ほど中庭スペースを通りがかったら、寒いのに外で10人ほど図書館の開館待ちで並んでいた。

菅原委員)

あのスペースは、以前は市民館裏道路につながる通り道になっていたが、今は閉鎖され通り抜けできなくなっている。

三上委員)

金銭の問題が発生するならば、市民館が主催者にならない形もあり、他の団体と連携して解決してはどうか。主催になれないが、ソーシャルデザインセンターなど横とのつながりを生かしながらやれば、若い世代に対しても訴求できるのではないか。併せて、ブックカフェ的な交流コーナーもできれば、そこから講座企画にあたってのヒントが見つかるかもしれない。そういう広がり期待したい。

事務局（江上係長）

資料「令和5年度のテーマ」に関する意見書「過去の麻生市民館運営審議会、麻生市民館専門部会の報告書」を説明。本日、例示したテーマについて、改めてご意見をいただきたい。参考まで24年度以降の報告書を送付します。

井上部会長)

二つのテーマの他に新たなテーマを提案したい方はいらっしゃいますか。

角田委員)

前回の部会でも話し合われたが、指定管理の方向性について指定管理とは何か、私たちも利用者も理解していないと思うので勉強会ができればいいと思う。例えば図書館と市民館が一体で管理すると聞いているが、二つの施設の機能は違うのでどのように管理するのか。スケジュールでは麻生市民館は令和8年度からとなっているが、制度的には今年には条例が改正されて全館に及ぶと思うので、1年前の令和7年度に議論しても何も変わらないと思う。他市の見学も含めて話を聞き、その中で今回のテーマとして話し合った空きスペースなど、誰がどのように管理することになるのか、直前になって話が違うということがないように共通認識をもっておくことが大事である。

井上部会長)

指定管理についてパブリックコメントの結果が返ってきているようなので、事務局からお願いしたい。

事務局（齊藤館長）

個別の市民館がコメントする立場にないが、いただいた御意見に対して市としての考え方が示されているので、後ほどお目通しいただきたい。

角田委員)

指定管理が決まってから、市民にこうですよと出すのは問題があると思う。指定管理の良し悪しを議論するのはもう時間的にできないし、パブリックコメントの意見を受けて全市的にこうするという流れは決まっていることは認識しているが、市民がこうしてほしいという意見を吸い上げて、市民のニーズに

合った形にしていただければと思う。やはり指定管理は難しいところがあるので、他市の成功例や失敗例を知りたいし、市民館や図書館が一体になれば、図書館職員の意見をきいて連携した学習もできるのではないか。そもそもこの専門部会がどうなるのかという点も気になる。全市的にこうするのだと決まれば早めに教えていただきたい。

事務局（齊藤館長）

指定管理については教育委員会が中心になって進めている。一番はじめに変わるのは川崎区。富士見公園内で教育文化会館と労働会館が一緒になる。他にも館によって図書館が直営かどうかなどもあり、全ての区が同じ仕様書になるのではない。仕様書の中で地域性が出てくる。今は、基本的な仕様について検討している段階で、その中で各市民館に現状の意見を求められ、調整がなされているところ。この場で断言できるものがなく、今の時点での説明にとどまることをご理解いただきたい。

菅原委員）

こども文化センター、老人いこいの家の例では、指定管理の事業者が異なっている。指定管理の業者は市民館や図書館の業務を全て熟知しているわけでない。麻生区の場合はこの部分は絶対に譲れないというところを持っておくことが大切。麻生区と多摩区は違うし、魅力的な個性である。様々な個性があった方が川崎市にとっても利用者にとってもよい。決まったことに関しては引き戻せないが、お任せすることはお任せし、つぶしたくないところはつぶさないという姿勢が大事である。

三上委員）

資料を見ると麻生区は改修と関係なく図書館と一括で指定管理になる。どちらの業務にも詳しくない業者が指定管理業者になる可能性もある。仕様書に関して、専門部会からこのような文言を入れてほしいという機会であったり、市民の声を聞く機会はあった方がいい。ボランティアの立場にしても、指定管理の後には、どのような活動になるのか不安な面がある。市民館から説明がほしい。あつという間にその時が来てしまうので後戻りできなくなる前に、市民館の利用団体やボランティアと話し合う機会をつくってほしい。

角田委員）

新しいテーマとして入れられるかどうか。

事務局（齊藤館長）

利用される団体に対して適宜お伝えしなければいけないと考えているが、まだ仕様書の基本的な形が出ていない。指定管理者が担う部分、市が担う部分、共同で担う部分、大きく3つに分かれると思う。この部分が分かった段階で専門部会の中でも情報を提供し、みなさまの意見をいただければと考えている。

角田委員）

今は市民館と図書館の館長がそれぞれいるが、一体管理になったらどうなるのか。仕様書が決まる前に

意見を届けられたらと考えている。テーマとして意見を吸い上げる場を設定し、市民と一緒につくっていききたい。

菅原委員)

かちっと決められてから考えるのではなく、一度専門部会内でフリートークの形で話し合えればと思っている。全部実現するのは無理だと思うが、いろんな意見を出していくつかがピックアップされてという形である。

井上部会長)

指定管理でどう変わるか、利用者にとっては不安に感じていると思う。指定管理をテーマの一つとして考えると3つになるし、それ以外もあると思う。今後のスケジュールを考慮すると、まず2月3日までに意見書を送っていただき、次の専門部会で審議する。また、実施に向けてお金やものなど検討しなければいけないことがある。

角田委員)

テーマは一つでなければいけないのか。できるなら、空き会議室など早めに手がける必要がある。

事務局（齊藤館長）

テーマの数に制限はないが、限られた専門部会の期間と市民館職員の数なので、5月から9月の間に2件行うとなると中途半端に終わってしまう可能性がある。アンケートなど検証的なことをやるのであれば職員の配置も必要となる。また市民館の職員が全て行うのではなくて、専門部会の皆さまにも協力していただくことになり、負担などを考えるとある程度絞っていただけるとありがたい。

井上部会長)

トライする時は市民館職員だけではない、ビブリオバトルの時は専門委員も関わった。また、専門部会の委員の後ろに関係団体があるのだから、その中から協力していただける団体もある。このメンバーだけで何でもやるのは無理があるので働きかけてできればよい。意見は忌憚のない意見を出していい方向に進められたらいいと思う。もし指定管理を行うのならば勉強会が必要だと思う。ただし、期間が限られているので今年度もどこまでというのも考えないといけない。何十回もできるわけではないのでその辺を踏まえて提案していただければと思う。

角田委員)

指定管理の件、職員の数が足りないというのもわかるので、知恵を出し合いながら進めたい。

事務局（内藤担当係長）

資料「市民自主学級・市民自主企画事業提案会・選考委員会」をもとに次回の専門部会について説明。

事務局（江上係長）

資料「市民自主学級・市民自主企画事業 企画案募集のご案内」に基づき、事業概要の説明。麻生市民館は学級2件、企画1件の提案あり。学級2件は、紙芝居とLGBTQの事業が継続、企画1件は新規で障がい者や介護従事者をテーマにした音楽劇である。

事務局（相澤課長補佐）

岡上分館、企画事業として2件の提案あり。継続、新規は1件ずつ。新規については不登校をテーマにしたもの。

事務局（齊藤館長）

1事業あたり15分、全部で5事業を審議する。提案件数としては今回少なかった。なお、先ほどのテーマ選定については過去の報告書のテーマと同一でも構わないと考えている。社会が変わっているの、過去に先進的過ぎてできなかったものも、今の技術でできることもあると思うので、積極的に議題提案いただきたい。

井上部会長）

それでは本日提案のテーマについての意見や、新たなテーマがあればその内容を意見書に書いていただき、次回審議できればいいと思う。これにて専門部会終了とさせていただきます。